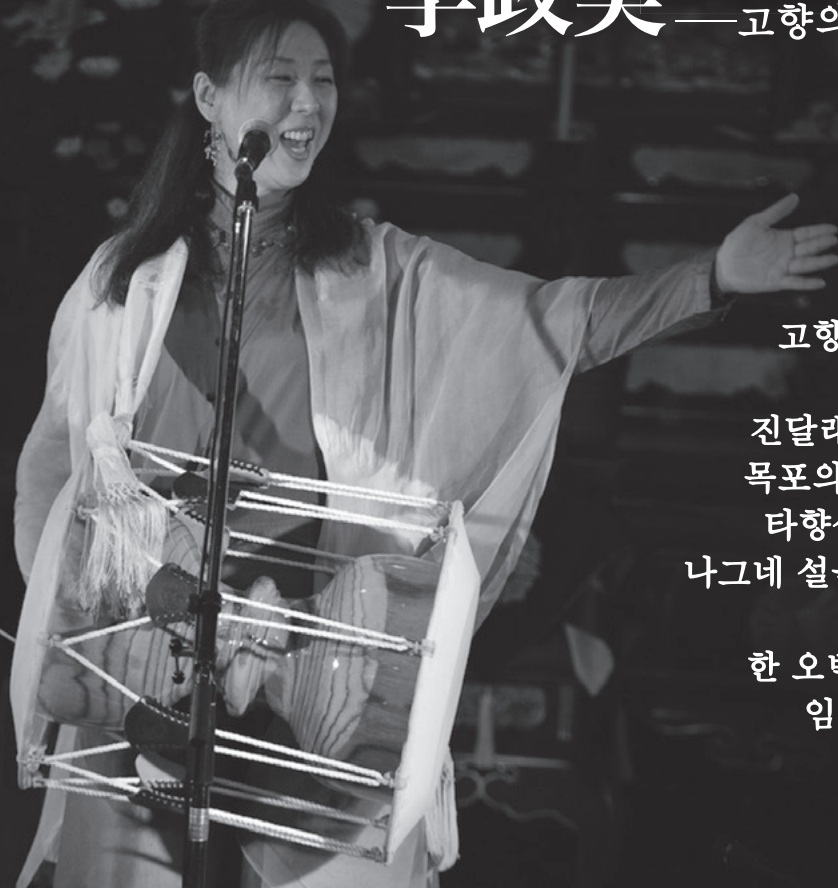


李政美 故郷の春コンサート大阪

コヒャンエ ボム

고향의 봄 (故郷の春)



朝鮮の人々に愛され続けてきた
民謡、童謡、歌曲、歌謡曲、フォークソングの中から、
大好きな歌をお届けします。
同胞のみなさん、日本のみなさんに、
言葉と音の美しさを味わっていただければ嬉しいです。

—— 李政美 ——

【曲目】

- 서시 序詩
- 고향의 봄 故郷の春
- 봉선화 鳳仙花
- 진달래 꽃 つつじの花
- 목포의 눈물 木浦の涙
- 타향살이 他郷暮らし
- 나그네 설움 旅人の悲しみ
- 아리랑 아리랑
- 한 오백년 한 五百年
- 임진강 임진강
- 아침이슬 朝露
-他

●李政美(いちよんみ/ Lee Jeongmi)

済州島生まれの両親のもと、6人兄弟の末っ子として東京・葛飾で生まれ、歌が大好きだったアボジ(父)が歌う韓国歌謡曲を聞いて育つ。オペラ歌手を夢見て民族学校から国立音楽大学声楽科に進む。音大在学中に朝鮮の伝統音楽、世界の民族音楽に興味を持ちはじめ、朝鮮民謡、フォークソング、フォルクローレなどを歌いはじめる。その頃発表した音源に「セヤセヤ(鳥よ鳥よ)」、「キムミンギを歌う」等がある。その後、子育て・充電期間を経て、'94年に屋久島に住む詩人・山尾三省と出会い、彼の詩「祈り」に曲を付け歌ったのをきっかけにオリジナル曲を作り始め、現在はオリジナル曲を中心にジャンルを超えた幅広いレパートリーで、ライブ、コンサートを展開。2003年には韓国・ソウルで初のソロコンサートを実現し、韓国の聴衆を魅了する。心にしみとおるその深く透明な歌声は、日本全国及び韓国の根強いファンに支えられている。



●佐久間順平(さくまじゅんぺい)

学生時代にシンガー・ソングライター活動をスタートする。作編曲家としてテレビ、ラジオ、映画、CMなどの音楽を制作。高田渡、さとう宗幸、小室等、ヤドランカ、伊藤多喜雄、中島啓江、李政美、南こうせつ等のステージ及びスタジオ録音においてサポート。現在はソロ・シンガー、フォーク・デュオ「林亭」の一員として、コンサート、ライブ活動を継続中。



●朴根鐘(ぱくこんじょん)

1984年から金剛山歌劇団でチョッテ(改良テグム)奏者として活動、退団後フリーで活躍。テグム、テピョンソ、チャンゴ等数多くの民俗楽器をこなす。公演活動の他、映画演劇の音楽制作に携わり、また後進の指導や普及活動にも努めている。蜷川幸雄演出、「グリークス」(2000年)、「ペリクリーズ」(2003年)に出演。現在大琴の名手、国立国学院民俗演奏団指導委員長元長賢先生に師事。



●竹田裕美子(たけだゆみこ)

1972年「Early Times Strings Band」に参加。ステージデビューは「五つの赤い風船、解散コンサート」だった。以来、小室等、白鳥英美子、加藤登紀子、伊藤多喜雄、しゅうさえこ、南正人、李政美など、多くのアーティストのステージ及びスタジオワークを幅広くサポートしている。「五つの赤い風船」が解散以来28年ぶりに再結成、リリースされたアルバム「五つの赤い風船2000」にも参加。



●李昌燮(りちゃんそぶ)

1970年 広島生まれ。サムルノリ創立メンバーである李光壽先生に師事。韓国国内で100回以上、海外で10回以上の公演に出演。2001年、東京に拠点を移し自らのサムルノリを探究している。社団法人民族音楽院日本支局長。



●向島ゆり子(むこうじまゆりこ)

3才よりバイオリン、ピアノを学び、学生の頃より音楽活動をはじめ。幅広い音楽性とアグレッシブなバイオリンが注目され、様々なジャンルでのコンサート、レコーディング活動を行っている。近年はラッシュホルメル、トリスタンホンジンガー、ウイレムブローカーなど海外のアーティストや、おおたか静流、酒井俊、朝崎郁恵など歌手との共演も多い。



●芹澤薫樹(せりざわしげき)

幼少より音楽・楽器・音響機器に触れる。ピアノ・打楽器などを経て大学よりベースを始め、卒業後はセッションベーシスト、レコーディングエンジニアとして活動する。ジャンルを問わずどっしりと暖かい音色でアンサンブルをグループさせるプレイとサウンドを信条とし、荒木一郎、李政美、井上昌己、すがはらやすのり、dorlis、navy & ivory ほか、様々なアーティストのレコーディングやコンサートに参加する。

